

■ 責任ある紛争鉱物調達に関する当社の方針

当社は、紛争地域や高リスク地域におけるスズ、タンタル、タングステン、金 の採掘が、人権侵害や環境破壊を引き起こすリスクを認識し、責任ある鉱物調達を推進します。この取り組みを実効性のあるものとするため、当社は OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンスに基づき、調査とリスク評価を行い、リスクが特定された場合には是正措置を講じます。

当社は、サプライチェーン全体を通じて、適切なデュー・ディリジェンスを実施し、サプライヤーに対して責任ある鉱物調達を求めています。その一環として、CMRT および EMRT を活用しサプライヤーから情報収集を行い、製品に使用されている鉱物がどの製錬所・精製所を経由しているかを確認します。調査の結果、紛争地域や高リスク地域からの調達が判明した場合は、必要に応じて是正計画を策定したうえで、適切な対応を進めます。また、サプライヤーに対しては、当社の責任ある鉱物調達方針を理解し遵守することを求めます。

調査結果やリスク管理の進捗については、関係者の要請に応じて適宜報告を行うとともに、透明性を確保するため、当社ウェブサイトなどを通じて公表します。

当社は、責任ある鉱物調達の実現に向け、サプライヤーや関係機関と連携しながら、継続的な改善を図ります。そして、公正で持続可能なサプライチェーンの構築を目指し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

■ 紛争鉱物に関するデューデリジェンス

当社は、責任ある調達を推進します。以下の方針に基づき、紛争鉱物に関するデューデリジェンスを実施します。

1. 法令およびガイドラインの遵守

当社は、紛争鉱物に関連する国際法令およびガイドラインを遵守し、武力紛争に関連する鉱物がサプライチェーンに含まれないように努めます。特に、OECD の「紛争影響および高リスク地域からの鉱物の責任ある供給に関するデューデリジェンスガイダンス」に従います。

2. サプライヤーとの協働によるデューデリジェンス

当社は、サプライヤーとの協力を重視し、紛争鉱物や人権保護に関するデューデリジェンスを徹底します。サプライヤーには CMRT や EMRT に基づいた情報提供を求め、収集したデータをもとにリスク評価を実施します。

3. リスク管理と対応措置

当社は、サプライチェーンにおける紛争鉱物の使用リスクを定期的に評価し、リスクが確認された場合には迅速に対応します。具体的には、サプライヤーに対して改善要求を行い、改善が見られない場合には取引の見直しや中止を検討します。

4. 持続可能な調達の促進

当社は、紛争鉱物の調達が地域社会や環境に悪影響を及ぼさないように努めます。持続可能な資源利用を推進し、サプライチェーン全体での環境保護および社会的責任を重視した調達を行います。

5. 透明性の維持と報告

当社は、責任ある紛争鉱物調達の方針とその実施状況について、定期的に社内外に対して報告し、透明性を確保します。

6. 継続的改善

当社は、紛争鉱物に関する方針やプロセスを定期的に見直し、業界の変化や新しい情報に基づいて改善を図ります。これにより、持続可能な調達を長期的に実現します。

■ 調査結果

当社は、CMRT および EMRT を使用して調査を実施しています。今回の調査対象は、2024 年ならびに 2026 年に発売した

VAIO Por PK-R ならびに VAIO SX-14R (日本向け・米国向け)

の構成部品に関してサプライヤーデューデリジェンスを実施しました。この調査により、リスクを特定することが可能となり、実効性のあるデューデリジェンスにつながるものと考えています。

- ・ 3TG, コバルト・銅・天然黒鉛・リチウム・マイカ・ニッケル 使用調査 調査取引先 17 社 回答率 100%
- ・ 構成部品数 : 265 部品 内 3TG, コバルト・銅・天然黒鉛・リチウム・マイカ・ニッケル が含まれる部品数 : 143 部品
- ・ 特定した製錬/精錬所は 3,777 社 うち Conformant/Active Smelter (RMI の監査に合格している か、監査受審中の製錬/精錬所) は全体の 93.5%でした

[紛争鉱物調査で確認した精錬業者リスト](#)

■ サプライヤーへの情報提供・教育

当社は重要な社会課題として「責任ある鉱物調達」の実現を認識しております。

すべての購入先様から調査票を回収するとともに、Conformant/Active な製錬所のみからの調達を目指すため調査回答を提出いただいたサプライヤーに対して、不備・不足など分析結果の詳細をフィードバックしていくことで、サプライヤーにおいて対応（デューデリジェンス）いただき、Conformant/Active な製錬所からの調達実現をサプライヤーとともに進めてまいります。